

浸水用消毒薬について

長久手市では浸水被害時の衛生対策として、希望者に消毒薬を配布しています。なお、床下や庭の消毒は原則不要です。汚泥を取り除き、しっかり乾燥させましょう。

《水が引いたら…》

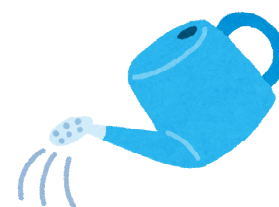
【手順 1】 不要なものや汚泥などを片付ける。

【手順 2】 浸水した場所を水で洗い流す。

（消毒前の水洗いが大切です。）

【手順 3】 必要に応じて※消毒薬を使用する（裏面参照）。

※『必要に応じて』とは、河川の水に浸かったときなどを指します。



【注意事項】

- 浸水用消毒薬に起因するトラブル、怪我及び事故、損害責任等について、市では責任を持ちません。
- 誤飲事故が起こる危険性が高まりますので、小分けにしないでください。
- 直接さわらないでください。皮膚についたときは、水で十分洗い流しましょう。
- 乳幼児の手の届かない場所で、食品と別に保管しましょう。
- 浄化槽に散布すると浄化微生物に影響をおよぼし、浄化槽の機能が停止しますので、散布しないでください。

消毒薬の使用方法

【服装】

作業中は、長袖・長ズボン・メガネ・マスク・ゴム手袋などを着用してください。

【消毒薬の種類】 逆性石けん液※500mL

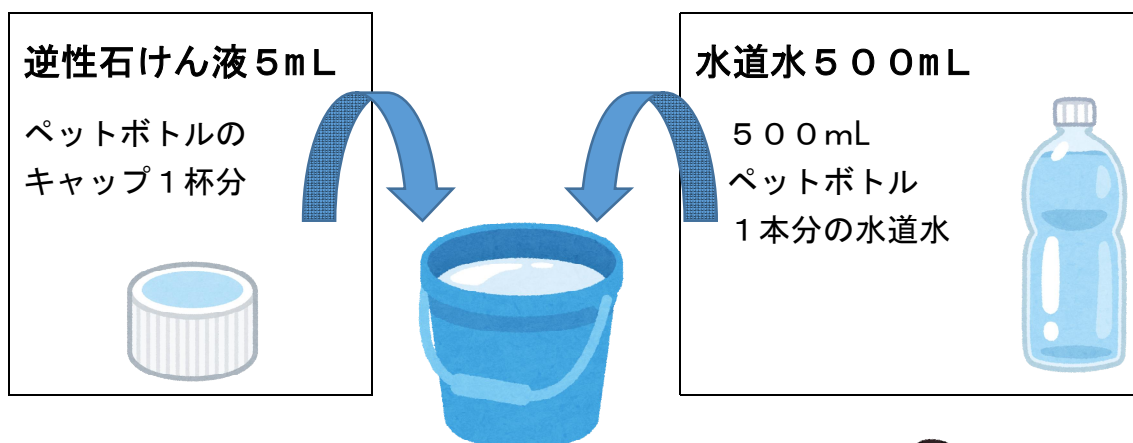
※ベンザルコニウム塩化物液

《消毒薬を使用される前に》

消毒薬に記載されている使用上の注意に従ってください。

【薄め方】（消毒薬の種類によって薄め方が異なります。）

逆性石けん液（約 100 倍希釈）



【使い方】

雑巾を消毒薬に浸し、しぼってから
ふきましょう。

